

令和5年度愛知県放課後児童支援員キャリアアップ研修 「安全計画の策定と実践」レポート(テーマ4)

あそびばクラブ 島田歩実

今回、このテーマの研修を受講することができて良かったと思っています。年に1度チェックシートを記入する時に、「緊急時の対応について」という項目を見るたびに「(どの項目もですが特に)まだまだだな」と自分で感じていた部分のひとつでした。「子どもたちが安全安心に過ごすことができる」という根底にある最も大切な使命を改めて再確認し、そのためにはどうしていくべきなのかを「知る」「考える」きっかけとなったのでありがたい機会となりました。

「安全計画を必ず各クラブで作成する」「その安全計画について周知し、安全に関する研修及び訓練を必ず定期的実施する」「定期的安全計画の見直しを行う」「保護者さんへも安全計画の内容を必ず周知してもらおう」という4点をまず教えて頂きました。職員会議にて、「能登で地震が起きた時、どう行動してた？」ということをお話していた時に、子どもたちを守る立場である自分の動けていなさにとってもまずいと感じました。「どんな災害が起こっても、大人の指示に従い身を守れば大丈夫、必ず大人が守ってくれる、という認識を子どもたちにさせることが大切である」と仰っていて、職場で起こった時のことを考え、一番冷静にいられる自分でいないといけないと強く感じました。いざという時に全てが計画通りにできるわけでは決まてないですが、事前に計画と共有ができていて、私にとってはいざという時の判断と選択をする時の少しでも助けになっていくのだろうと感じます。

ある学童保育所の避難訓練の様子を動画でみせて頂きました。「地震がくるよ!」「頭机の下に入れて」とずっと指導員さんが声を出し続けていたり、「今から〇〇(指導員)の話を聞いて指示に従ってね」と具体的に言ったり、小学校へ避難する最中の道で「ブロック塀が落ちてくるかもしれないよ」と危険を予測して声を掛けていたりしました。指導員さんの真剣さが伝わっているのか、子どもたちもふざける様子もなく真剣に取り組んでいました。あそびばならどうなるだろう、あそびばならどうやってやればいいかなと思わず見入ってしまいました。訓練は回数を多くしてこなせば決して安心なわけではなく、いかに1回1回の実施を指導員も子どもたちも真剣に取り組むことができるか、その1回1回が子どもたちにとっても指導員にとってもやって良かったと意味のあるものとなるのか、が最も大切であると感じたので、学ばせて頂いたやり方を参考にさせて頂きながら、あそびばの場合はどう実施していこうかと考えます。

地震、火災、不審者の対応について、計画の作り方のポイントも教えて頂きました。それ以外にも、気道内異物除去やAEDの使い方等、学んでおかななくてはならないこと、考えておかなければならないことがまだまだたくさんあることを再認識しました。これらの災害や救急対応以外にも、日頃から生活の中で危険はたくさん潜んでいます。だからといって、あれもこれもやめておいて、では子どもたちの楽しい生活を守ることができません。その

線引きが難しいよね、とグループワークでも話し合いをしました。大切なことは、「何が起こるだろうかと想像し、防ぐことができるものは大人の手、子どもたち自身で防止すること」「なぜ、その出来事が起こってしまったのか？なぜ？を3回繰り返し(①なぜ転んだのか→水があったから→②なぜ水があったのか？→指導員が水をまいたから→③なぜ水をまいたのか？その水は必要だったのか？等)状況の整理をし、記録に残し、再度起こることのないように方法を考えること」だと感じました。だからこそ、できるだけ多くの指導員の目と考えを大切にしながら子どもたちを見守っていかねばと感じました。

あそびばの職員会議にて、あそびばの安全計画を作成しますというお話をしたら、「緊急時どう対応すればいいのか、いつ起こるか分からなくて指導員のメンバーも様々で、どう動けばいいのか不安なので、話し合いたいです」という声が非常勤指導員さんからもアルバイト指導員さんからも挙がってきました。子どもたちからも「あそびばで地震がきたらどうするの？」という声をきくことがあり、みんな少なからず不安な気持ちをもっていると思います。私がやるべきことは、子どもたちも指導員さん(自分ももちろん含め)ももしもに備えてあそびばバージョンの計画と訓練を積み重ねていけるように考え、投げかけ、子どもたちと指導員さんと一緒に実行、共有すること。そして子どもたちと指導員さん(自分も含め)の不安な気持ちを少しでも取り除くことができるようにすることだと思っています。

せっかくこのような研修を受講させて頂き、計画も作成したので、作成して終わりに決してせず、あそびばなりのやり方を考え、話し合い、子どもたちと指導員さんの安全と安心を守っていくことができるようにします。